

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	愛知ペット専門学校
設置者名	学校法人アイピーシー学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化・教養専門課程	ペットトリマー科	夜・通信	1735 単位時間	160 単位時間 (60 単位)	
	ドッグトレーナー科	夜・通信	1735 単位時間	160 単位時間 (60 単位)	
	動物看護科	夜・通信	2160 単位時間	160 単位時間 (60 単位)	
	ペットアドバイザー科	夜・通信	1735 単位時間	160 単位時間 (60 単位)	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

http://aichipet.com/wp-content/uploads/2019/07/h30gakkouhyouka.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	愛知ペット専門学校
設置者名	学校法人アイピーシー学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<http://aichipet.com/wp-content/uploads/2019/07/h30gakkouhyouka.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社員	平成20年2月27日～令和2年2月26日	ペットビジネス
非常勤	会社員	平成31年9月11日～令和2年2月26日	企画開発
非常勤	会社員	平成20年2月27日～令和2年2月26日	獣医療
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	愛知ペット専門学校
設置者名	学校法人アイピーシー学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての授業計画は、学則に規定された授業時間数に準じて年度毎に策定している。 ・その策定においては、教育課程編成委員会での答申を参考にしている。 ・授業計画の原案は年度末(3月)までに作成し、教育課程編成委員会での審議を経て、4月末までに承認を得ることとしている。 ・学生への公表は入学ガイダンスおよび各科目初回授業にて開示し、同時にホームページにて公開掲示することとしている。 	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>http://aichipet.com/wp-content/uploads/2019/07/2019.7pt.sy_.pdf</p> <p>http://aichipet.com/wp-content/uploads/2019/07/2019.7dt.sy_.pdf</p> <p>http://aichipet.com/wp-content/uploads/2019/07/2019.7vt.sy_.pdf</p> <p>http://aichipet.com/wp-content/uploads/2019/07/2019.7pa.sy_.pdf</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各科目の成績評価は、学年末において、各学期末に行う定期試験・実習の成果・出席状況等を総合的に勘案して行っている。 ・成績評価は、「専修学校が授業科目の履修とみなすことができる学修」に基づき、6つの評価区分を定めて行っている。 ・評価の基準となる試験評価は、各試験の平均点または正答率を基準として4段階に評価をしている。 ・また、同基準となる出席評価は100点法による4段階に評価をしている。 ・さらに資格試験の合否や、日常の学習態度をその提出物などで評価している。 	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席評価は、100点法による4段階評価とし、出席点の65点以上の上位3段階までを認定とする。 ・試験評価は、試験の平均点または正答率による4段階評価とし、左記基準からの65%以上を認定とする。 ・資格ライセンス等の可否結果でしか評価が得られないものは、合格者を履修認定し、不合格者に対しては、再受験もしくは当校が作成した別途試験を受験させ、再受験合格もしくは別途試験の65%以上を合格とし認定する。 ・試験評価ができない科目については、日常評価の方法や元となる書類等の提出にて認定する。 	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>刊行物を職員室に設置 (成績評価及び単位認定に関する内規)</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学則第19条の課程修了の認定は、授業科目の成績評価に基づいて認定を行う。 ・各学科目標に基づき、所定の履修認定基準に該当する学生は、専門家としての知識のみでなく、試験評価以外のものと総合的に判断することで、実践的な技術力も修得されたと評価できるとして認定している。 	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>http://aichipet.com/wp-content/uploads/2019/07/r1.5guideline.docx</p>

※全学科において概ね同様の取扱いとしている

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	愛知ペット専門学校
設置者名	学校法人アイピース学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://aichipet.com/wp-content/uploads/2019/07/apc201903taishaku.pdf
収支計算書又は損益計算書	http://aichipet.com/wp-content/uploads/2019/07/apc201903sikinshusi.pdf
財産目録	http://aichipet.com/wp-content/uploads/2019/07/apc201903mokuroku1.pdf
事業報告書	http://aichipet.com/wp-content/uploads/2019/07/apc201903shusi.pdf
監事による監査報告（書）	刊行物を職員室に設置（監査報告書）

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	ペットトリマー科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1855 単位時間	240 単位時間	75 単位時間	1,540 単位時間		
			1,855 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		33人	0人	1人	3人	4人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての授業計画は、学則に規定された授業時間数に準じて年度毎に策定している。 ・その策定においては、教育課程編成委員会での答申を参考にしている。 ・授業計画の原案は年度末（3月）までに作成し、教育課程編成委員会での審議を経て、4月末までに承認を得ることとしている。 ・学生への公表は入学ガイダンスおよび各科目初回授業にて開示し、同時にホームページにて公開掲示することとしている。
成績評価の基準・方法

<p>(概要) 各学期末に行う試験、実習の成果や出席時数等の履修状況等を総合的に勘案して成績評価を行う。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p>
<p>(概要) 所定の修業年限以上の在学及び開設する授業科目の成績評価に基づく課程修了の認定を受けた者に卒業・進級の認定を行う。</p>
<p>学修支援等</p>
<p>(概要) 主に担任による個人面談（電話連絡および保護者面談等含む）</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
10人 (100%)	0人 (%)	10人 (100%)	0人 (%)
(主な就職、業界等) ペット業界、主にペットサロン			
(就職指導内容) 主に担任による個人面談			
(主な学修成果（資格・検定等）) 日本動物専門学校協会 1 級・2 級、ペットエステティック国際協会 BRONZE・SILVER			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
28 人	2 人	7%
(中途退学の主な理由) 学業不振、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 随時個人面談を実施（担任、進路相談、学校長など）。必要に応じ、保護者との三者面談や家庭訪問等。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	文化・教養専門課程	ドッグトレーナー科	○				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1855 単位時間	255 単位時間	75 単位時間	1525 単位時間		
			1,855 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	18人	0人	1人	4人	5人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての授業計画は、学則に規定された授業時間数に準じて年度毎に策定している。 ・その策定においては、教育課程編成委員会での答申を参考にしている。 ・授業計画の原案は年度末（3月）までに作成し、教育課程編成委員会での審議を経て、4月末までに承認を得ることとしている。 ・学生への公表は入学ガイダンスおよび各科目初回授業にて開示し、同時にホームページにて公開掲示することとしている。
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>各学期末に行う試験、実習の成果や出席時数等の履修状況等を総合的に勘案して成績評価を行う。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>所定の修業年限以上の在学及び開設する授業科目の成績評価に基づく課程修了の認定を受けた者に卒業・進級の認定を行う。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>主に担任による個人面談（電話連絡および保護者面談等含む）</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
15人 (100%)	0人 (0%)	13人 (86.7%)	0人 (0%)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>ペット業界、主にペットショップ、動物病院</p>			
<p>（就職指導内容）</p> <p>主に担任による個人面談</p>			

(主な学修成果 (資格・検定等)) 日本動物専門学校協会ドッグトレーナー1級・2級・3級、ペットシッター士資格
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
30人	1人	3.3%
(中途退学の主な理由) 学生生活不適應		
(中退防止・中退者支援のための取組) 随時個人面談を実施 (担任、進路相談、学校長など)。必要に応じ、保護者との三者面談や家庭訪問等。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	文化・教養専門課程	動物看護科	○				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2280 単位時間	735 単位時間	225 単位時間	1320 単位時間		
			2,280 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	21人	0人	1人	3人	4人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての授業計画は、学則に規定された授業時間数に準じて年度毎に策定している。 ・その策定においては、教育課程編成委員会での答申を参考にしている。 ・授業計画の原案は年度末（3月）までに作成し、教育課程編成委員会での審議を経て、4月末までに承認を得ることとしている。 ・学生への公表は入学ガイダンスおよび各科目初回授業にて開示し、同時にホームページにて公開掲示することとしている。
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>各学期末に行う試験、実習の成果や出席時数等の履修状況等を総合的に勘案して成績評価を行う。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>所定の修業年限以上の在学及び開設する授業科目の成績評価に基づく課程修了の認定を受けた者に卒業・進級の認定を行う。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>主に担任による個人面談（電話連絡および保護者面談等含む）</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
14人 (87.5%)	0人 (0%)	14人 (87.5%)	0人 (0%)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>ペット業界、主に動物病院</p>			
<p>（就職指導内容）</p> <p>主に担任による個人面談</p>			

(主な学修成果 (資格・検定等)) 動物看護師統一認定資格
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
24 人	3 人	12.5%
(中途退学の主な理由) 学生生活不適應		
(中退防止・中退者支援のための取組) 随時個人面談を実施 (担任、進路相談、学校長など)。必要に応じ、保護者との三者面談や家庭訪問等。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	文化・教養専門課程	ペットアドバイザー科	○				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1855 単位時間	345 単位時間	75 単位時間	1435 単位時間		
			1,855 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	16人	0人	1人	2人	3人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての授業計画は、学則に規定された授業時間数に準じて年度毎に策定している。 ・その策定においては、教育課程編成委員会での答申を参考にしている。 ・授業計画の原案は年度末（3月）までに作成し、教育課程編成委員会での審議を経て、4月末までに承認を得ることとしている。 ・学生への公表は入学ガイダンスおよび各科目初回授業にて開示し、同時にホームページにて公開掲示することとしている。
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>各学期末に行う試験、実習の成果や出席時数等の履修状況等を総合的に勘案して成績評価を行う。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>所定の修業年限以上の在学及び開設する授業科目の成績評価に基づく課程修了の認定を受けた者に卒業・進級の認定を行う。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>主に担任による個人面談（電話連絡および保護者面談等含む）</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7人 (100%)	0人 (0%)	7人 (0%)	0人 (0%)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>ペット業界、主にペットショップ</p>			
<p>（就職指導内容）</p> <p>主に担任による個人面談</p>			

(主な学修成果 (資格・検定等)) 日本動物専門学校協会ドッグブリーダー2級・損害保険募集人基礎単位
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
10人	0人	0%
(中途退学の主な理由) なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) 随時個人面談を実施 (担任、進路相談、学校長など)。必要に応じ、保護者との三者面談や家庭訪問等。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
ペットトリマー科1 年次	210,000 円	630,000 円	792,037 円	実習費・施設管理費・教材費
ドッグトレーナー 科1年次	210,000 円	630,000 円	701,814 円	実習費・施設管理費・教材費
動物看護科1年次	210,000 円	630,000 円	665,208 円	実習費・施設管理費・教材費
ペットアドバイザー 科1年次	210,000 円	630,000 円	714,786 円	実習費・施設管理費・教材費
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://aichipet.com/wp-content/uploads/2019/07/h30gakkouhyouka.pdf		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 当該専門課程の教育にふさわしい教育活動が実施されたことに対する成果を検証し、必要な改善を速やかに行うことで教育水準の向上を図ることが重要である。また、学校教育活動に対しペット産業に関わる企業や保護者などと連携し意見を積極的に汲み取ることで相互理解の促進を図り、教育活動の改善と発展を推し進める。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
有限会社宇野獣医科 院長	平成31年4月1日～令和2年3月31日 (7年目)	企業等委員
株式会社アイピーシー 営業部部長	平成31年4月1日～令和2年3月31日 (7年目)	企業等委員
株式会社アイピーシー 事業管理部次長	平成31年4月1日～令和2年3月31日 (7年目)	企業等委員
株式会社アイピーシー ペットサロン doggies 店長	平成31年4月1日～令和2年3月31日 (2年目)	企業等委員
株式会社アイピーシー わんわん動物園副主任	平成31年4月1日～令和2年3月31日 (1年目)	企業等委員
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://aichipet.com/wp-content/uploads/2019/07/h30gakkouhyouka.pdf		

第三者による学校評価（任意記載事項）

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）

<http://aichipet.com/wp-content/uploads/2019/07/r1.5gaideline.docx>